

2014年 10月 30日

報道各位

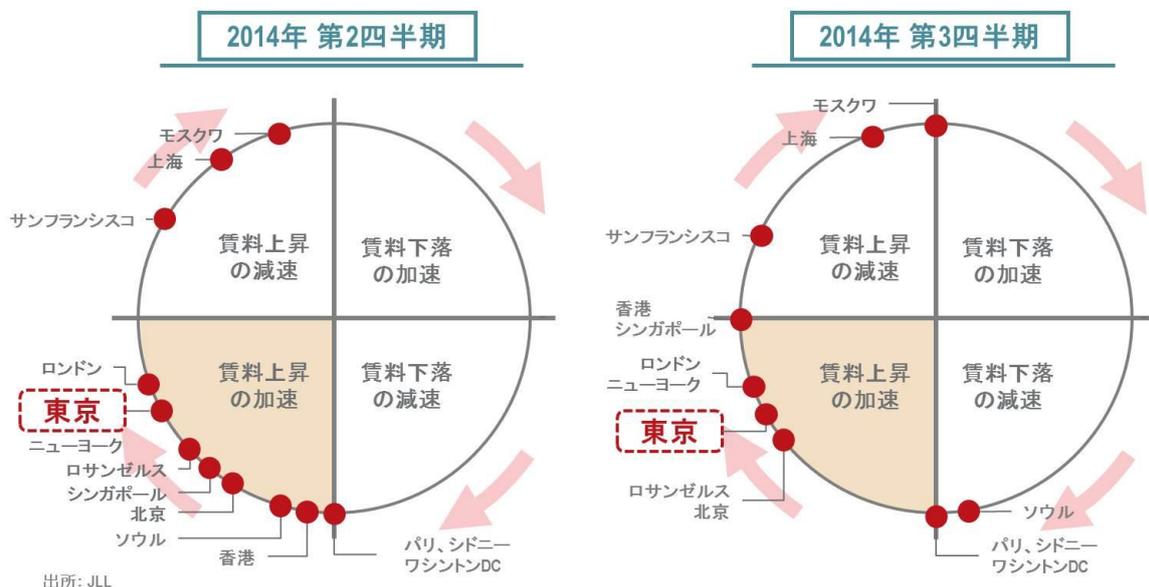
JLL

(ジョーンズ ラング ラサール株式会社)

東京の A グレードオフィス賃料

10 四半期連続で「上昇加速」フェーズを維持

プロパティクロック (不動産時計) 2014 年第 3 四半期



総合不動産サービス大手の JLL グループ(本社:イリノイ州シカゴ、社長兼最高経営責任者:コリン・ダイアー、NYSE JLL、以下:JLL)は、世界主要都市のオフィス賃料の動向を示す独自の分析ツール「プロパティクロック(不動産時計)2014 年第 3 四半期」を発表しました。東京の A グレードオフィス賃料は、引き続き 10 四半期連続で「上昇加速」のフェーズを維持しました。今後も着実に回復する見通しです。

JLL リサーチ事業部長の赤城威志は次のように述べています。

「東京 A グレードオフィス賃料は上昇加速しています。昨年来の企業収益回復傾向を受け、本年に入りオフィス需要は着実に顕在化しており、賃料上昇率も増加しています。消費税率引き上げ後、天候不良も影響した個人消費回復の遅れや業種によっては企業の景況感に若干陰りが見られる等懸念材料もありますが、今月発表された日銀短観では 2014 年度の企業の設備投資計画は上方修正されており、オフィス市況にとっては好影響を与えるものと思われれます。特に現在まとまった空きスペースが不足している東京 A グレード市場においては賃料上昇圧力に全く変化はなく、引き続き良好傾向を示すものと考えられます。最新のプロパティクロック(不動産時計)にもこれが表れています」

“プロパティクロック(不動産時計)”とは？

世界の主要都市の賃料動向を時計に見立てて“見える化”した JLL 独自の市場分析ツールで、四半期ごとに発表しています。

賃料が概ね①賃料下落の加速、②賃料下落の減速(→底入れ)、③賃料上昇の加速、④賃料上昇の減速(→頭打ち)、というサイクルで変動することを前提とし、現在の賃料がそのサイクルのどこに位置するかを表示することで、世界主要都市の賃料サイクルを示しています。

“Aグレードオフィス”とは？

Aグレードオフィスとは、各都市の中心業務地区にあり、面積・建物高さ等一定の水準を満たすグレードの高いオフィスビルを指します。

この件に関する問い合わせ先：

広報担当(エイレックス)吉岡 電話:03-3560-1289

JLLグループについて

JLLグループ(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)は、不動産オーナー、テナント、投資家に対し、包括的な不動産サービスをグローバルに提供する総合不動産サービス会社です。世界75カ国、1,000都市、200超拠点で展開し、売上高は約40億ドルに上ります。2013年度は、プロパティ・マネジメント及び企業向けファシリティ・マネジメントにおいて、約2億7,900万㎡(約8,370万坪)の不動産ポートフォリオを管理し、990億ドルの取引を完了しました。JLLグループで不動産投資・運用を担当するラサール インベスト マネジメントは、総額480億ドルの資産を運用しています。JLLは、ジョーンズラングラサールインクの企業呼称です。

JLLのアジア太平洋地域での活動は50年以上にわたり、現在15カ国、80事業所で27,500名超のスタッフを擁しています。2014年インターナショナル・プロパティ・アワード・アジア・パシフィックでは7カ国・地域で「最優秀不動産コンサルタント賞」を受賞、また2013年ユーロマネー・リアルエステート・アワードにおいては9つの賞を受賞しました。詳細な情報はホームページをご覧ください。www.joneslanglasalle.co.jp